

関西地区 FD 連絡協議会会員校各位

関西 FD 研究 WG『研究サブグループ』への参加のご案内

関西地区 FD 連絡協議会・研究ワーキンググループ

新緑の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、関西地区 FD 連絡協議会（関西 FD）は、先月 24 日、みなさまのご協力を賜りまして、無事総会を終え、新年度のスタートを切ることができました。研究ワーキンググループ（WG）におきましても、承認されました本年度の活動計画概要に沿って、早速、活動を開始して参りたいと思います。

つきましては、以下の件につきまして、ご要望等ありましたら、是非お知らせいただきたく、ここにご案内申し上げる次第です。よろしく貴学関係者にお伝えいただきまして、ご希望等、お寄せいただければ幸甚です。

●研究サブグループ（SG）への参加希望調査について

昨年度までは「授業評価研究 SG」「出欠確認研究 SG」「Web 公開授業研究 SG」の 3 つの SG で活動を行ってききましたが、Web 公開授業研究 SG は昨年度をもって解散し、これを機に、研究 SG の再編成を試みることに致しました。授業評価研究 SG についてはそのまま継続とし、出欠確認研究 SG は、ケータイ等の ICT を利用した授業アンケート、出欠確認の実施方法等のあり方を中心に、FD におけるメディア活用全般を見据えて共同研究を進めることとし、「FD メディア研究 SG」と名称を変更しました。また、新たな研究 SG として、「FD デザイン研究 SG」、「授業型学生支援研究 SG」を発足させました。

そこで、新たに発足した研究 SG への参加募集と、継続する研究 SG も、再度、参加の募集を行うこととしました。各研究 SG については、以下にその概要を記しましたのでご参照下さい。

また、新たな研究 SG の創設のご要望も併せて募りたいと思います。なお、新たな研究 SG 設立の要望が会員校から寄せられた際には、研究 WG での検討を経て、改めて新たな参加者を募ると共に、円滑な運営が進められるように研究 WG が支援する予定です。

なお、一校から参加できる研究 SG の数には制限がありませんが、研究 SG には担当の個人名を登録いただき、その方に責任をもって連絡等いただくこととさせていただいております。場合によっては、複数名を登録することも可能です。参加ご希望の場合は、(1)参加される方の氏名・(2)ご所属・(3)e-mail アドレスをお知らせ下さい。各 SG のメーリングリストに登録させていただきます。

ご回答は、別文書ファイルのアンケートに直接ご記入いただくか、同様の必要事項をメール等にご回答いただき、研究 WG 事務局 (fd-research@kansai-fd.org)宛に 6 月 21 日(月)までに必ずご返信下さい。なお、参加のご希望がない場合にも、集計の都合上、できましたら「参加希望なし」のご返信をいただけますと幸いです。なお、ご不明の点がありましたら、上記、事務局にお問い合わせ下さい。

■研究 SG の概要

(1) 授業評価研究 SG (主査校：神戸大学)

授業評価研究 SG は、昨年度、授業評価研究の現状と今後の課題について議論する会合や、京都大学高等教育研究開発推進センターと共催で公開研究会を実施してきました。また、関西地区 FD 連絡協議会で実施した FD 活動に関する調査結果を基に、各大学における授業評価アンケートの活用状況に関する結果をまとめ、その概要とアンケート事例集を公表しています。今年度も、授業評価に関わる情報交換、研究課題等の議論を行う研究会を 1~2 回程度開催すると共に、授業評価ワークショップの開催を企画・実施する予定です。

(2) FD メディア研究 SG (主査校：大阪成蹊大学)

出欠確認研究 SG が名称を FD メディア研究 SG に変更すると同時に、目的、研究範囲を見直し、FD 全般を対象として ICT 等のメディアを活用する方法・課題、及び、その効果等について研究することにいたしました。大阪成蹊大学で活用している携帯電話での授業アンケート、出欠確認システム (i-MAS)、i-MAS の拡大機能である簡易アンケートや小テストなどの活用のあり方の研究を含めて、年に 5~6 回の研究会を予定しています (別途、会員校に、第 1 回会合について、メンバーリストを通じてご案内しているところです)。

(3) FD デザイン研究 SG (主査校：神戸大学)

FD デザイン研究 SG は、FD の研修会や研修プログラムなどのあり方を、インストラクショナル・デザインの理論等をベースに共同研究を進めることを目的とします。今年度は、SG 研究会を 2 回程度開催し、また、大学教育研究フォーラムなどのラウンドテーブルなどで、研究成果の一端を報告する予定です。

(4) 授業型学生支援研究 SG (主査校：京都大学)

授業型学生支援研究 SG は、授業の場で自己理解やメンタルヘルスの向上に役立つ予防的知識やスキルを提供する授業実践について共同研究を行うことを目的とします。当面、実際に自己理解やメンタルヘルスの促進に役立つ授業に関する実践研究、効果検証を行っている教員をメンバーとします。定期的な研究会を通して、各教員の実践研究例を報告し、情報や課題の共有を行うとともに、授業開発に関する共同研究を行います。サブグループの成果は、公開の研究会や大学教育研究フォーラム等で発表し、公開していく予定です。

(5) 新しい研究 SG の提案について

新たな研究 SG を立ち上げたいという提案がありましたら、お知らせ下さい。

会員校 (大阪成蹊大学) よりの提案で発足した研究 SG には、「出欠確認研究 SG」がありますが、2 年前の発足時は 4 校でスタートしましたが、今は 10 校程に拡大しており、最も活発な共同研究が進められ、「FD メディア研究 SG」と発展的に改名し、次のステップへと新たに踏み出しています。

この種の連携・共同研究は、単に、FD に関わる情報交換に留まらず、お互いに FD を推進する立場で抱えている問題に共感し合ったり、その克服に向けて励まし合ったりといったことを通して、

エネルギー交換の場にもなっていると思います。どうぞ、それぞれの大学で抱えている課題をご提案いただき、共同研究の輪を新たに創り上げていただければと思います。

(6) その他

その他、研究WGへのご意見・ご要望などありましたら、ご自由に、お寄せいただければ幸いです。

研究SGの内容等、何かご不明の点などありましたら、何なりとお気軽に、研究WGメーリングリスト（fd-research@kansai-fd.org）宛に、メールでお問い合わせ下さい。

【研究ワーキンググループ（WG）とは】 研究WGは、いくつかの研究課題を設定し、それぞれの課題ごとに研究サブグループ（SG）を構成し、共同研究活動を推進していくことを目的とするものです。「研究WG」は、関西FD「幹事会」に置かれる「研究部を構成する大学等」、及び、「研究SG主査校」によって構成されることとします。「研究WG」は、①研究SGを具体的に企画・設置すること、②研究SGの活動が円滑に推進されるように調整・支援すること、③研究SGの成果を関西FDにおいて広く共有が図られるように支援すること、などを目的としています。

現時点では、「研究部」は、幹事校の神戸大学（責任校）、龍谷大学、京都大学（事務局担当）で構成され、それにFDメディア研究SGの主査校大阪成蹊大学を加えて、「研究WG」は4校で構成されています。なお、**研究WGは、大学単位の参加**となりますので、研究WGのメンバーとなる大学からは、研究WGのメーリングリスト等に、一名以上の登録が必要となります。

【研究サブグループ（SG）とは】 研究SGは、研究WGの下、具体的な研究課題を設定して共同研究を進めるサブグループを指し、研究WGの実質的な活動単位となります。2010年度当初の段階では、「授業評価研究SG」、「FDメディア研究SG」、「FDデザイン研究SG」、「授業型学生支援研究SG」の4つの研究SGを設置して活動を行うこととしています。なお、**研究SGは、個人単位の参加**となりますので、各研究SGに参加の希望がある場合は、個人名を登録していただくこととなります。

《注》 研究WG、研究SGの会合等への参加旅費等は、各大学で支給することを原則とします。